ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか

3

Will it be wrong to find a new encounter from dungeon?

[原作] 大森藤ノ
(GA文庫／SBクリエイティブ)
[漫画] 九二枝
[キャラクター原案] ヤスダスズヒト

ダンジョンに出会いを間違っている。

神様
何でこんなところにいるんですか!?
まさか
バイトのかけ持ち!?
STEP 15 ▸▸ お買い物は災いのもと??
ダンジョンの到達階層が増えてお金にちょっと余裕ができたって
言ったばかりじゃないですか!?
……っ
いっ いいかいベル君
今あったことは全部忘れて目と耳を塞いで大人しく帰るんだっ……!
ここは君が来るにはまだ早い!

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか

[原作] 大森藤ノ [GA文庫 SBクリエイティブ]
[漫画] 九二枝
[キャラクター原案] ヤスダスズヒト
©2014 Fujino Omori SB Creative Corp

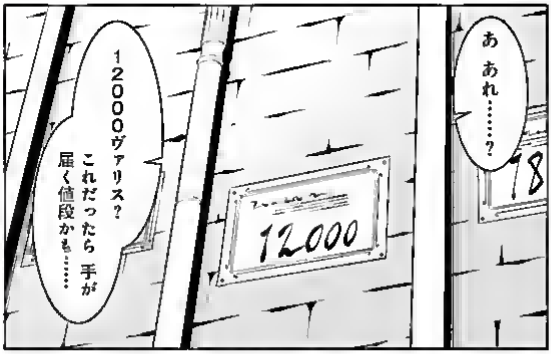
3

contents

STEP15 お買い物は災いのもと??——1
STEP16 サポーターのお仕事事情——25
STEP17 迷宮に潜む罠?——45
STEP18 大失態と大誤算——68
STEP19 大いなる勘違い!?——86
STEP20 嫉妬と歓喜と入浴??——105
STEP21 嵐の前の静けさ!?——127
STEP22 油断大敵!?——147

神様は恥も外聞も捨てちゃダメです！
いいから ほら 帰りましょう!?
うあ ちょっ！
ええい 離せ 離すんだベル君！ 神にはやらなくちゃいけない時が――
こらぁっ！ 遊んでんじゃねーぞ 新入りぃ！
はぁーい!!
あっ!?
かみさまぁ～ ……
……あ 相変わらず 変わった神だね？
お見苦しいところを見せてすみません……
大丈夫だよ じゃあ 上の階に 行こうか？
ペコリ

ベル君は
【ヘファイストス・ファミリア】
みたいな高級ブランド
自分には縁がないもの
だと思ってるでしょ？
……はい


あれ……？
18
12000
12000ヴァリス？
これだったら手が
届く値段かも……

実はそうでも
ないんだなぁ
ほら この槍を
見てごらん

ふふ 驚いた？
はいはい でも どうして？
【ヘファイストス・ファミリア】は 末端の職人達にもどんどん 作品を作らせて それをお店に並べちゃうの
お店側もこういう場を設けることで 下の下の冒険者達の客層も確保できるからね
ああ なるほど……
さらに重要なのは 冒険者と鍛冶師の駆け出し同士に繋がりができるってことなの
えっ…… どういうことですか？

新米鍛冶師の作品を介して
新米冒険者が
作った者の名前を覚える

とにかく ベル君でも買える
【ヘファイストス・ファミリア】の
商品があるってこと！
ベル君
手持ちのお金は？
えっとちょうど
10000ヴァリス
です

じゃあ 防具一式
揃えられるかもよ
中には掘り出し物も
あったりするし
ここは手分けして
探そう！

類は友を呼ぶじゃ
ないけど
鍛冶師の隠れた原石は
慧眼を持つ冒険者に
発掘されるの
ペロッ
……なーんて

ほおお
へー
うーん
下っ端の鍛冶師(スミス)が作ったって言っても すごいことには変わらないな……
……ん？
あれはアーマー系統？
……なんかガラクタみたいな扱いだけど……
すらっ
値札が貼ってあるってことはやっぱり売り物かな……
すた
すた
ここは…
これは…

……っ
サイズは…
恐らくぴったりだ
軽い…
ヘファイストスの名は
許されてないけど
製作者は
ヴェルフ・クロッソ

おーい ベル君！
私 いいの見つけちゃったよ！
プロテクターに革鎧！
ちょっと高いけど
どっちかはー
ってあれ？
じー
……ベルくーん？
はっ
えっあ……
はいっ 僕 これにします……！
がばっ
もしかして それに決めちゃった？
はぁ……
せっかく選りすぐってきたのになぁ……
軽装が好きだねー
す…すいません
いいよ ベル君が使うんだもんね
買っちゃいなよ
キミがこれって決めたんならそれでいいと思う

ありがとうございましたー
きゅっ 9900 ヴァリスか！……
高い買い物になっちゃったかな……
んあれ？
エイナさんは……？
ごめんベル君お待たせっ
あエイナさん――
ベル君
はいこれ

篭手ですか？
これって……
私からのプレゼント
ちゃんと使ってあげてね？
ええ!?
いいいです
いらないです！
返します
なぁに？
女の人からのプレゼントは
もらえないっていうの？
いいえっ
でも……
……情けなくて
……私はもらって
欲しいな
私じゃなくて
キミ自身のために

本当にさ
冒険者はいつ死んじゃうか
わからないし
どんなに強いと思っていた人も
神の気まぐれみたいに簡単に
亡くなっちゃうんだ……
でも いなくならないで
欲しいなぁ ベル君には
あはは これじゃあ
やっぱり私のためかな？
それにさ ベル君
私のこと大好きって
言ってくれたじゃない？
えあっ!?
あれはそのっ
エイナさんが
励ましてくれて
嬉しかったから……！
そういう
意味じゃないって
わかってるけど
私もさ
嬉しかったんだよ
ベル君に好きって
言われて

だからってわけじゃないけど
ちょっと力になりたいって思ったんだよ
だから
ね 受け取って？

……ありがとう
ございます
どういたしまして

ちょっと遅くなっちゃったな……

エイナさんにあんなにドキドキしちゃうなんて……
不味いよなぁ
じとー
僕はヴァレンシュタインさん一筋のはずなのに……
えっ？

あうっ！
すいません
う？

……っ
……大丈夫ですか!?
……小人族（ルム）？
追い付いたぞ
テメエッ!!

この
矮小人族が……
もう逃がさねえからな……ッ！
……!?

そこを動くんじゃねえぞッ！

……ああ？
何の真似だ？

ああのっ 事情は
わからないですけど……
一回落ち着いた
方がっ……
ミシ
黙れッ！

何なんだよテメエは!?
そのチビの仲間なのかっ！
しょ
初対面ですっ
じゃあ何でそいつを
庇ってんだ!?

ガキ
邪魔だ
そこをどきやがれ

……ん
女の子だからっ？
何言ってんだよ
テメエッ……！
いい
まずはテメエから
ブッ殺す……！
男だったら……
女の子が襲われてたら――
助ける
に決まってる！

やんのか!?

初めての対人戦……！
不味い
足が震えてくる……
戦えるのか
こんなのでっ!?
ブル
ブル
ブル
コイツ…
ビビッてやがる

止めなさい
次から次へと…!?
今度は何だァ!?
チッ
貴方が危害を
加えようとしている
その人は
私の同僚の
伴侶となる
方です
手を出すのは
許しません!!

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っている。

STEP 16 ▸▸ サポーターのお仕事事情

貴方が危害を
加えようとしている
その人は
私の同僚の
伴侶となる方です
手を出すのは
許しません！

伴侶って…？
この人は何を
言っているンダ

どいつもこいつも
わけわかんねえことをっ……！

あ あなたは……
『豊穣の女主人』の店員のリューさん？

……

クソッ 次から次へと邪魔が入りやがる……

てめえもまとめてブッ殺されてえのかあッ
ああ!?

吠えるな
……っ
……!!

手荒なことはしたくありません
私はいつもやりすぎてしまう
小太刀P
いつの間に……
くっ…
くそがぁ……！
覚えてろォ!?
……
大丈夫でしたか？
あ はいっ！

あ ありがとうございます 助かりました……
いえ こちらこそ差し出がましい真似を
貴方ならきっと何とかしてしまったでしょう

ところでリューさんはどうしてここに？
買い出しです その途中で貴方を見かけてしまいつい

いいや……
悪い想像しか浮かびませんでしたけど……

貴方はここで何を？
あっそうだこの子――
くるっ

あれ？

誰かいたのですか？
……その筈なんですけど
……では私はこれで
ペコ
あっ はい！本当にありがとうございました！
よし……
ガシ

やっと
冒険者らしく
なってきた――
すぴよ
ねべっ……
ねべぇ～れくぅ～ん……
いいぞぉ……
すぅ
ねコレ…？
本当に
神様ったら……
なんで
バイトのかけ持ちなんて
してるんですか
神様！
お金だったら
僕が――

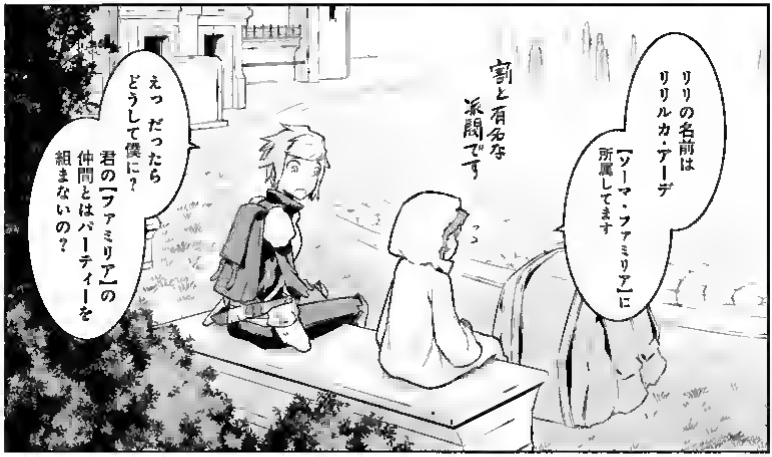
バイトは絶対に辞めないぞベル君っ！
ボクが自分で稼がなきゃいけないんだ！
わかってくれ
いや わかれー！
えぇっ
はいーっ！
なんだかよくわからなかったけど……
すごい やる気だった…
説得は諦めよう
……行ってきまーす

さあ 今日も頑張ろう！
お兄さん
お兄さん
白い髪の
お兄さん！
ん？

え……ええっ？
君は昨日の……
初めまして？
あれ？
初めまして
お兄さん！
突然ですが
サポーターなんか
探してませんか？

サ サポーター？
はい！
えっ……
サポーターかぁ……
前々からいてくれたらなぁと思っていたけど……
いきなりで混乱しているんですか？
でも簡単な話ですよ？
冒険者さんのおこぼれにあずかりたい貧乏なサポーターが自分を売り込みしているんです
にぱっ
そ そうじゃなくて……
君 昨日の……？

昨日？
お兄さん リリと
お会いしたことが
ありましたか？
リリは覚えて
いないのですが
キョトン
……えっ？
それで どうですか
サポーター
ええっと……
で できるなら
欲しいかな……？
本当
ですかっ！
なら リリを連れてって
くれませんか お兄さん！
いや それは
いいんだけど……
うーん……？


リリの名前は
リリルカ・アーデ
【ソーマ・ファミリア】に
所属してます
割と有名な
冒険者です
えっ だったら
どうして僕に？
君の【ファミリア】の
仲間とはパーティーを
組まないの？

リリはこんなに小さいですし
腕っ節もからっきしで
何をやっても鈍臭いリリを
仲間に入れてくれないんですよ
えへへ
ダメなんですよ
【ファミリア】の中で
身内をのけ者にする……？

ホームでは居心地悪くて宿屋で寝泊まりしてるんですけど
手持ちのお金も心もとなくなってきました……
がばっ
ですからぜひっ
ぜひっ
ぜひっ！
お兄さんとダンジョンにもぐりたいんです！
……リリルカさんの事情はわかったけど……
一つ確認させてもらっていいかな？
はい何でしょう？
本当に僕達
会ったことない？
リリはお兄さんと初対面の筈なんですが……
見間違えだったりしませんか？

……もしよければ
そのフードを
取ってくれないかな？
わかりました……
あっやっ
その……
……
……わ
……へっ？

……じゅ
獣人(じゅうじん)？
はいはい
リリは
犬人(シアンスロープ)です
ペロン
小人族(ハーフ)じゃなくて
獣人の女の子？
……うそぉ
すっ
キャー
んんっ
……！

……本物だ

紛れもない 獣耳

ふにっ ふにっ ふにっ ふにっ

んっ あっ んっ あんっ

あ…あの子じゃない

いくら容姿が似ていようか種族が異なったら別人だ――

ふるっ

あうっ……

あっあの……

お…お兄さぁん…

ふるっ ふるっ

ご ごめんっ！

ほっ 本当にごめんね!?

リリの大切な耳をこんなにめちゃくちゃにされてしまうなんて……

責任とってもらいますよ！

でも何でその自分の種族を隠すような真似を？
リリの毛並みはぼさぼさでみっともなくてあまり人に見せたくないんです……
それでお兄さんどうでしょうか
リリを雇ってもらえませんか？
えっとその場合は契約金とか必要なんですか？
今日はお試しなので探索での収入を分ける形でいいですよ？
リリは三割も恵んでもらえると飛び上がってしまうほど嬉しいです！
ニコーッ
……わかりました
名乗るのが遅くなっちゃったけど僕の名前はベル・クラネル

リリルカさん
ひとまず今日一日だけ
サポーターをお願いします
ありがとうございます！
――よしっ
それじゃあ行こう
ダンジョンへ！

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っている。

STEP 17 ▸▸ 迷宮に潜む罠？
ダンジョン7階層

準備は万全だ…！
ジャキ

今の僕には
新しい装備があるし
サポーターだっている
やるぞ！

……
ギ…
？
ベル様っ！

いっ いきなり……！
大丈夫
スッ
あれくらいだったら
何度も乗り越えてる！

ドオ
ア…
ア…
ふッッ！
キリキリキリ

ニギギギ
ギギギ
ズ
ギャ！
よっ！
ギュン
と！

そこ動くなよおおッ！
ドドドドド
ドドドドド
ドドドドド

っ……
あああああッ！
ギィィィ
パッ
ギ

ブシュウ
ベル様
お強い～～!
さあ
次い!!

——戦いやすい！
リリルカさんが
僕の邪魔にならないように
モンスターの死骸を
運んでくれている……
これなら何も
気にせずいける！
仲間を呼ぶ
キラーアントは
先に潰した！
後は一匹ずつ
倒すだけ！

ボ
わあああっ ベ ベル様ーっ!
また生まれましたぁー!?
ドン
せえー
ドン
ドン
のッッ!!

ふうっ

ベル様は本当に
強いですね
で——

コレ
どうするん
ですか……？
どう
しようか……

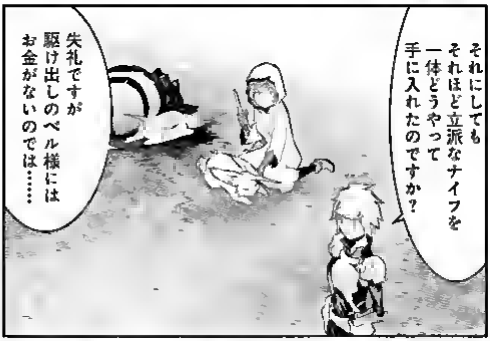
さーてと
片付けちゃいましょう
ボシュウ
りりルカさん
魔石の取り方
上手だねぇ……
へえ
そんなことないですよ
ベル様
りりにはこれくらいしか
取り柄がありませんから
ボシュウ
ボシュウ
あのさ…りりルカさん
ベル様ってのは
流石にやめて
欲しいんだけど……
ベル様
りりのことはりりと
呼んでください
さんづけは
ダメです
ど、どうして
呼び方くらいでそんな……

いいですか
ベル様？
サポーターなんて
聞こえはいいですが
ただの荷物持ちです
つまりは
命を懸けてモンスターと
戦っている冒険者様から
してみれば
甘い蜜を吸おうとする
寄生虫なんですよ
リリ達は何もしていないくせに
リリ達が冒険者様と同格で
あろうとすることは傲慢です
もしそんなことを
してしまえば
冒険者様は分け前など
恵んでくれないでしょう
そんなことっ!?
ベル様がお優しいことは
わかっています
ですが けじめは
つけなくてはいけません
もし リリが生意気だ
という風評が流れて
しまったら
ベル様以外の冒険者様に
全く相手にされなくなって
しまうんです

ベル様には慣れないことを強要させてしまいますが……
どうかリリを助けると思って受け入れてくれませんか？
……
……わかったよ
リリ
ありがとうございます！
――話は変わりますが
本当にベル様は駆け出しの冒険者様なのですか？
こんな数のモンスターをお一人で倒すなんて……
倒したっていっても危なかったところは結構あったし……

お一人で戦っているのだから当然です
普通なら3人以上でパーティーを組むんですよ？
ソロというのは誰もやりたがりません
でもできないってわけじゃないでしょ？
それは……そうなんですけど
Lv.1で僕より強い冒険者なんていっぱいいるだろうし
じゃあやっぱり僕なんかまだまだだよ
……まぁベル様のお強さは【ステイタス】以外にも――
武器によるところも確かにあるのでしょうが…

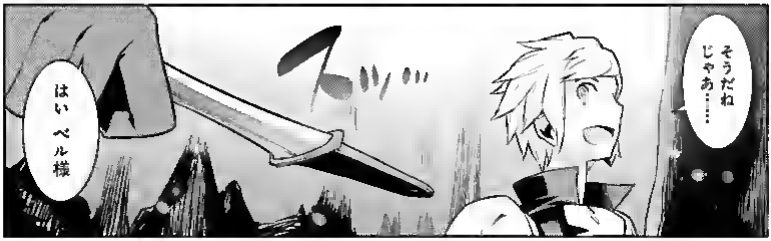
やっぱりそうだよね
僕もちょっとこのナイフに頼り過ぎてるかなって……
いえいえ 武器の力に翻弄されず御することができれば それはベル様の糧としたお力ですよ


それにしても それほど立派なナイフを 一体どうやって 手に入れたのですか？
失礼ですが 駆け出しのベル様には お金がないのでは……

神様に… 【ファミリア】の 主神様に頂いたんだ
何でも友達に 無理言って譲って もらったって

……それは
――良い神様ですね

さあ
ベル様
ん？
あのキラーアントの
魔石も取っちゃい
ましょう
せっかくですから

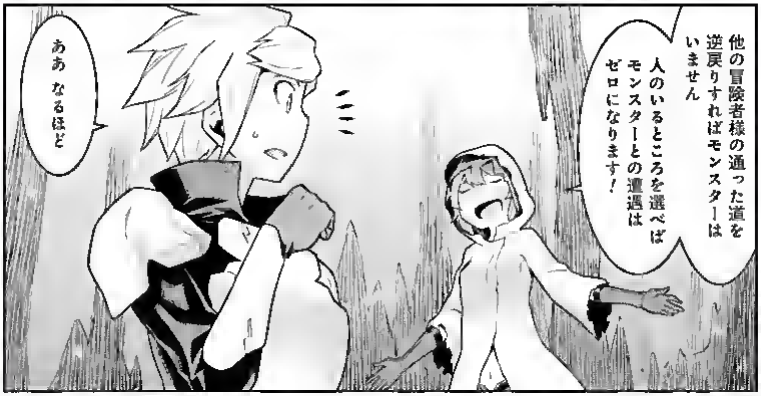

そうだね
じゃあ……
はい
ベル様

魔石は胸にありますから
あの細い胴体を切り落とせば
いいと思います
え……あうん
……よし

んっ……
折れないナイフだから
ちょっと切りにくいな……
終わりましたか？
つ？
にこーっ
あ……も　もう
ちょっと待って

よっ！
ベル様 今日はこれくらいにしましょうか
あとはリリがやります
えっ もう？
僕はまだ余裕があるけど
いえいえ それは油断です
今日倒したパープルモスは毒鱗粉を撒き散らします
即効性こそありませんが何度も浴びれば「毒」の症状が発生します
愚鈍なことにリリは解毒薬を切らしておりまして……
早急にベルに戻って治療することをお勧めします
うっ 嘘!?
本当です

ど「毒」かあ……
なら帰り道のモンスターは全力で倒しにいかないと……
大丈夫です ベル様！


他の冒険者様の通った道を逆戻りすればモンスターはいません
人のいるところを選べばモンスターとの遭遇はゼロになります！
ああ なるほど

この時間なら冒険者様達は溢れるほどいるでしょう
リリに付いてきてください
ベル様には一度も武器を使わせませんよ！
リリもやっぱり凄いよ
サポーターなんて言うけどすごく頼りになる
経験を積めばこんなのすぐですよ
さあ 行きましょう！

さてさてベル様
今日の報酬の話なんですが……
うん こんなに手伝ってもらったし普通に山分けで――
さあコッチです

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか

STEP 18 ▸▸ 大失態と大誤算

うーん
他所の『ファミリア』のサポーターかぁ……
やっぱり不味いですかね？エイナさん
うーん……
ベル君から見てどうなのそのリリルカさんって子は？
いい子でしたよサポーターとしても腕は悪くなさそうでしたし
『ファミリア』で孤立していると語っていた言葉に偽りはなかったと思う
僕は少しあの子を放っておけなくなってる
……でもなぁ

その子の所属してる【ファミリア】は？
ええと確か【ソーマ・ファミリア】って言ってました
【ソーマ・ファミリア】か……
んー
また強く反対も賛成もできないところが出てきたなぁ
あの…そこってどんな【ファミリア】なんですか？
ちょっと待って
うん お酒を販売してるの
品種や出回る量は少ないんだけど味は絶品だっていう話だよ
【ソーマ・ファミリア】は典型的な探索系で実力は中堅の中堅だね
他と違うのは商業系にも片足をつっ込んでることかな
商業系？

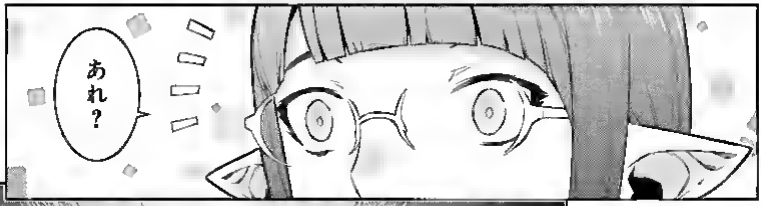
うわ……何より
構成員の数がすごいね
これは
知らなかったなぁ
団員の数が
多いってことは……
パラ
パラ……
主神である神ソーマは
かなり信仰はされて
いるみたいだね
この神はいい噂も
悪い噂も本当に
全くないんだけど
むしろ神ソーマが
有名なのは他の神と
交流がないってこと
神達の催しには
これまで一回も出てない
って聞くし
というか面識ある
神って誰？って
言われるくらい
それはまた……
極端というか
何というか
【ファミリア】
自体に変わった
ところはないんだ
……ただ
ただ？

あくまで私の主観なんだけど【ソーマ・ファミリア】の冒険者達は雰囲気が普通じゃないの
仲間内でも争っているというか死に物狂いっていうか…
何ていうのかなぁアレは……
とにかく必死なんだよねあの【ファミリア】の人達って……
……
一応 私はその彼女をサポーターとして雇うのは賛成するよ
えっ 本当ですか
うん 確かに【ファミリア】はきな臭いところもあるけど……
派閥間のもめ事については心配ないさだよ 神ソーマのことをふまえたらね
他の構成員を刺激しないように心がけておけばきっと大丈夫

私としては キミに
早くソロをやめて
ほしいから
むしろ
勧めたいかな
エイナさん……
後はベル君の
心次第
やっぱり最後は
キミが自分で決めて
自分で責任を
取らないと
実は私もベル君にってフリーの
サポーターを探してみたん
だけど…見つからなかったよ
無所属だと
ファルナ
『神の恩恵』も
授ってないし
他にもっと安全で
稼ぎのいい仕事は
あるんだし
フリーの人は わざわざ
ダンジョンにもぐろうとは
しないのかもね
エイナさん
サポーターって
冒険者に疎(うと)まれたり
するものなんですか？

……そうだね
専門職のサポーターは
身分が低いかもしれない
理由は言わなくても
わかってると思うけど……
ただの
荷物持ちです――
普通サポーターって
いうのは力の弱い人が
なるものなの
一流の【ファミリア】は
下っ端の冒険者に
やらせるしね
「神の恩恵（ファルナ）」を授かっても
誰も彼も強くなれる
わけじゃない
言っちゃうと　そんな落ちぶれた
冒険者達が専門のサポーターに
転職するから……
蔑視（べっし）の対象には
なりやすいのかな
周りから落ちこぼれの
レッテルを貼られてる
なんて……
そんなの……
やり切れないよ

それでは
うん 私の方は
いつでもいいから
こういう話はちゃんと
相談しに来てね？
ペコ
そうですか……
ありがとうございました
エイナさん
色々参考にします……


あれ？

ナイフは
どうしたの？
えっと……
ベル君？
何ですか？

へっ？
ナイフだったら
ここに……
……ん？
すか

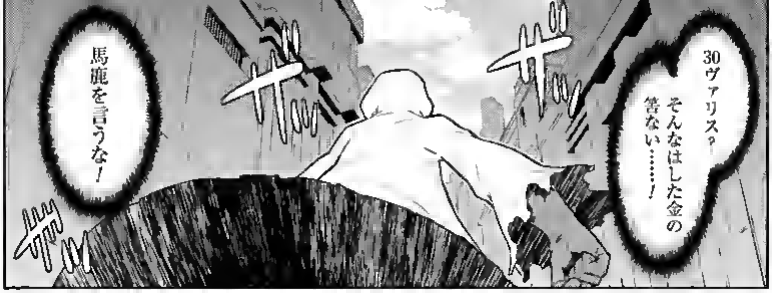
おッ
落としたぁあああああ!?

さ 捜して
きますーっ！

ギギィ

おお
また
お前さんか
お願いします
……ふぅん
これまた
変わったものを
持ってきて…
少し待っとってくれ
……

何じゃいこりゃ
ゴミ捨て場で拾ったのか？
何も切れんし……
刀身そのものが
死んでおるよ
珍しいのぉ お前さんが
こんなガラクタを
つかまされるなんて
ま待って
くださいっ
そんな筈は……！
といってもなぁ…
間違ってもこんなモノ
売りには出せんし……
ウチでよければ
そこら辺に飾るよ？
30ヴァリスで
つ……
また来ますっ！
おうおう 今度は
期待しとるよ
でも あのミミズが
のたくったような文字
どっかで見たことが
あるような……
バタン


30ヴァリス？
そんなはした金の
筈ない……！
馬鹿を言うな！

これは化け物（モンスター）の硬い殻も
切り裂く業物（わざもの）だ！
豪邸を建ってもお釣りがくるほどの価値がある
一級品の武器の筈だ！

なのに
どうして……？

【Hφαιθτος（ヘファイストス）】のサインが入った箱（はこ）があれば……

すみません シル
荷物持ちなどをさせてしまって
ううん それは平気だけど……

リュー
いつもこんな道を通っているの？
ええ
お店に戻るならこちらの方が速(はや)かに時間短縮になります
シルが危惧(きぐ)しているほどではありません
ゴクッ
待ちなさい
そこのパルゥム

袖にしまったナイフ
それを見せてほしい
リュ
リュー？
……何故ですか？
【神聖文字】が刻まれた
そのナイフが知人の
持ち物に似ているので
確認させてほしい
のですが
こんな暗闇で……
どんな視力を
している……！
……生憎ですが
このナイフは
私のものです
変な言いがかりは
よしてください！
ズ

抜かせ
……ッ!?
動かないでください

駄目だ！
こうなったら
分かれ道に
飛び込んで……

逃げ切るしかない！

警告はしました

いぎっ!?

ガラン
腹に力をこめた方がいい
ウッ…
ふぎゃあっっ!?

STEP 19 ▶▶
大いなる勘違い!?

ナイフが見つからない……
どこに落としちゃったのかなぁ

あうっ！
わっ！な何っ？

リリリ!?
ふあっ……
ベベル様っ!?

ちょっ どうしたの!?
ゼー
ゼー
実は凶暴な女…
じゃあなくてっ
野良犬に襲われて
しまいまして……
ポーション
あったかな…?
……まさか
逃げられるとは……
ちょっ リュー
速いよっ……
えっ リューさんに
シルさん!?
一体何が……
ゼー
ゼー
ああ クラネルさん
ちょうど良かった
実は貴方の……
……!

スゥ…。
クラネルさん
どいてください！
ひゃっ！
えちょ
ちょっと!?
ぐいっ
!?!?!?

え……!?
――犬人（シアンスロープ）

いきなり
どうしたんですか！
リリ 大丈夫!?
ペコ
はぃ……
すみません
人違いでした

このナイフ
貴方の物では
ありませんか？

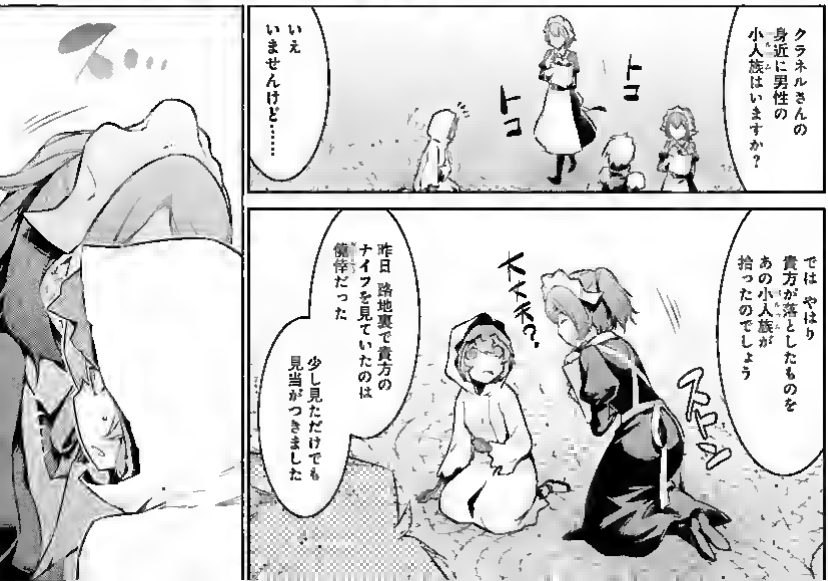
…ところで
クラネルさん
ゴソ

うあああっ
ピクッ
ビクッ
僕のナイフです！ ありがとうッッ！
本ッ当にっありがとうございますっ!!
でも
良かった……
あぁ神様
ゴメンナサイ
もう二度と落としたり
しませんっ……！
……クラネルさん
その…困る
このようなことは
私ではなくシルにして
もらわなくては……
ちょっ
何言ってるの!?

落とした……？
……っ!?
ナイフが…
ズド!!
本当に助かりました このナイフ どこにありましたか？
ナイフ
……あったというより 一人の小人族が持っていて 落としていきました
小人族？ ああ だからリリにあんなことを……
そえ その小人族を追いかけ回していたのですが 逃げられてしまい……

この場にいた彼女を疑ってしまいました
私の早とちりです
早とちりってことは……？

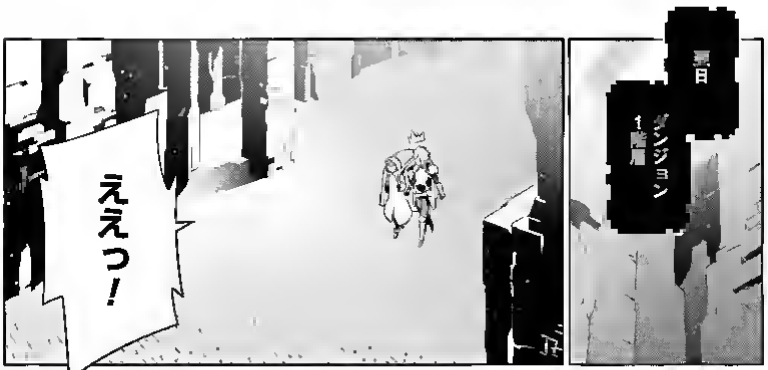
はい 彼女は犬人のようですし
それに私が追っていた小人族は男性でした


クラネルさんの身近に男性の小人族はいますか？
いえ いませんけど……
トコ
トコ
では やはり貴方が落としたものをあの小人族が拾ったのでしょう
昨日 路地裏で貴方のナイフを見ていたのは僥倖だった
少し見ただけでも見当がつきました
ストン
ドドド？

――あまりおいたしちゃダメよ？
!!
――さて
要件は
済みました
シル
そろそろ
戻りましょう
あ はーい
ありがとう
ございました！

ベル様…
あの人達は
何者なんですか？
酒場の店員さん
なんだ
『豊穣の女主人』って
いう有名店のね

……あの
何？
絶対にリリをそこへは
連れていかないで
くださいね……


翌日
ダンジョン
1階層
ええっ！

リリってスキル
発現してるの!?

持っているだけマシ
というような情けない
スキルです
運搬作業中足手まといに
ならないようにできる
程度のものですよ

それでもやっぱり
羨ましいよ
僕なんてまだ一つもスキル
持ってないし魔法だって……
あ そういえばリリは
魔法も発現してるの?

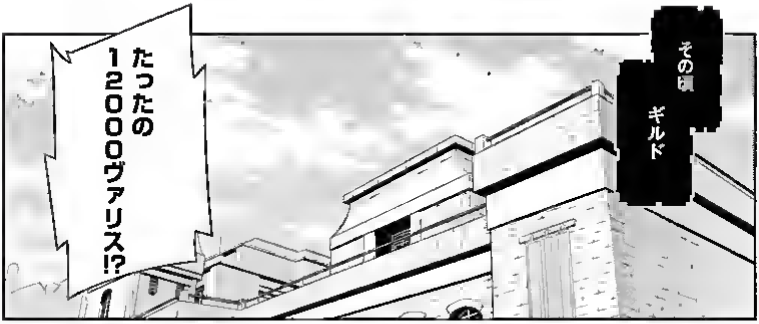
残念ながら……
一生自分の魔法を拝めない人は
多いと聞きますので
リリもそのケースかと

それはそうと
ベル様 今日の
ご予定は？
昨日 神様に「ステイタス」を
更新してもらったんだ
ウズウズ
だから今の力を
試してみたくて
ウズウズしてる
今日は7階層で
粘ろうかなって
あ そうだ
本当に契約金とか
前払い金はいいの？
ええ 構いません
ベル様は他の方と
パーティーを組んでいないので
問題ありませんし
それに
それに？

そちらの方がベル様にも
都合がよろしいでしょう？

え？
さあ
行きましょう！
ベル様が頑張ってリリの
食いぶちを増やしてください！

あ……
その時の僕には
リリの言葉の意味が
わからなかった
ただ……
――お前も他の
冒険者と同じなんだ
あの瞳にそんなことを
言われたような気がした


その頃
ギルド
たったの
12000ヴァリス!?

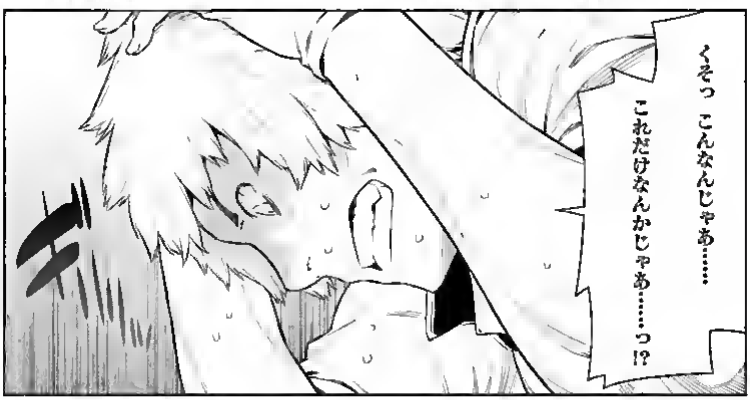
ふざけるなっ
あんたの眼は
節穴(しあな)か!

ラーわ……

まただよ
また「ソーマ・ファミリア」の冒険者
なんだってあそこまでお金に執着してるんだろうねー……

ドロップアイテムもちゃんと勘定に入れたのか!?
なぁ もう一度確かめてみろ!
馬鹿野郎 何年この仕事で食ってきたと思ってるんだ!
いい加減にしろ!

う～
あんな裂けるほど目を見開いちゃって気持ち悪い!
私【ソーマ・ファミリア】の担当じゃなくてよかったぁ～

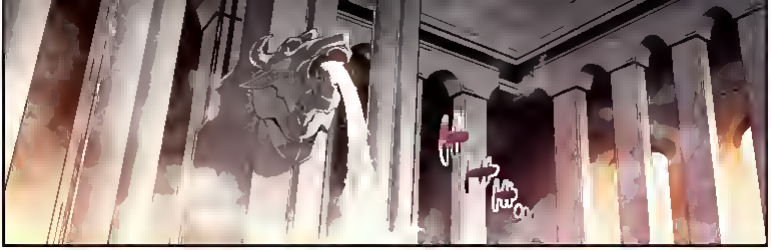

くそっ こんなんじゃあ……
これだけなんかじゃあ……っ!?

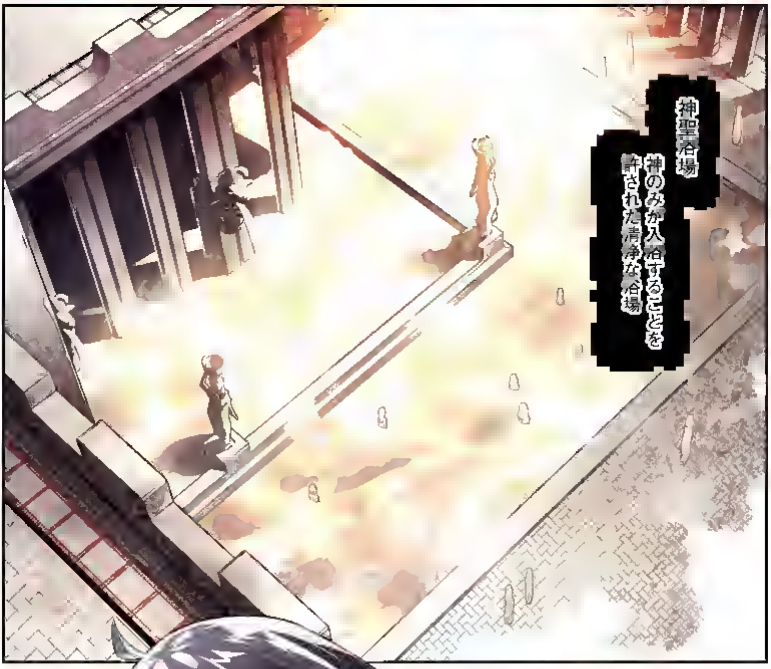
……
【ソーマ・ファミリア】……

私としては キミに早く
ソロをやめてほしいから
むしろ勧めたいかな

もしかして
早まっちゃったかなぁ……

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っている。




神聖浴場
神のみが入浴することを許された清浄な浴場

はー……
ベル君……
あら ヘスティア？

珍しいわ
こんなところで……
あー……
やあ デルメル
久しぶりー
どうしたの？
貴方が浴場に訪れるなんて
今日が初めて何じゃない？
大きな胆ね
君だってそうだろう
実は……
この後 夕食を食べに
行く約束があってね
チャプ…
少し気合を入れようかと
思ったのさ……

STEP 20 ▸▸ 嫉妬と歓喜と入浴??

時を遡ること一日前
きょ 今日も乗り切った……
ヘファイストスのやつめっ
ヨロて。
ヨロッ
借金返済のためとはいえもう少し気をつかってくれたっていいじゃないか……！
うぅ…連日の重労働でボクはもうくたくただよ……
ああ ベル君に早く会いたい……！
神様っ！
すごいすごいよっ！

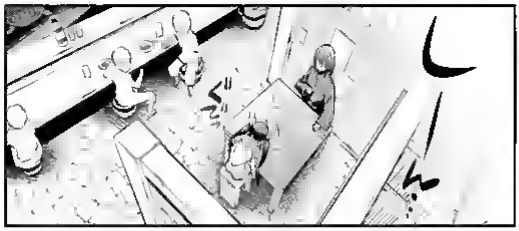
おーい
ベルくーん
ベル君だ！
26000
ヴァリス！
!?
やあぁ――――っ！
たった一日でこんなに
お金がっ！
ベル様すごい――っ！
夢じゃないよね！
現実だよね!?
これもリリのおかげだよ！

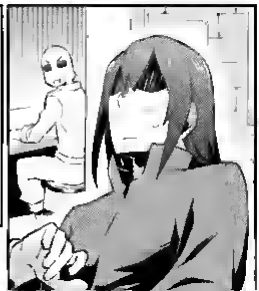
ベル様お一人で5人組パーティーより稼げてますよっ！
褒めすぎだよリリ！
ぽちーん
べっ……
ベル……くぅ……ん……
ぐらぁの
だっ
あ、そうだ ご飯食べに行こうよ！ 僕、おごるよ 信和ってそうだし
わ、わたしもベル様の!?

聞いてくれよ
ミアハ！
ベル君が……
ベル君が浮気を
していたんだ！
浮気とは
穏やかではないな
ベルがそのようなことを
する光景が想像できんが
うぃーっ
うっ
まあベルにはベルの
付き合いも
あるのだろう
黒と決めつけるのは
早計だと感じるが……
そもそも
恋人で
すらないそなたが
浮気云
くそう！

そもそも一体なんなんだあの娘は!?
ベル君はボクのものなんだぞぉ!
これこれベルは誰のものでもないぞ
酔わなきゃやってられないんだよ!
うぅ……
プル
プル
わかってるさ!言ってみたかっただけさ!
ダンダン
うむ酔ってるな
うわあああああああんっ!!
ベル君ベル君ベル君ベルくーんっ!
お願いだからボクの前からいなくならないでおくれー!!
バッ
ここれ!?声がでかいぞヘスティア!

君が笑っていてくれれば
ボクは下水道に
住み着いたっていいぜ!?
ぶっちゃけ同じベッドで寝たいんだ
ギュウギュウしたいんだ 君の胸に
ぐりぐり頭を押し付けたいんだー!!
それくらい君のことが
好きなんだ!
愛してるよ
ベルくーんっっ!!





当人がいなくてよかったな
勘定をたのむ
すぴー
スンッ
スンッ

ありがとうございましたぁー
あれぇ ミアハー 支払いはどうしたんだーい？
うぃーっく
ひっく
うむ 私の全持ちだ

おいおい水臭いなー こういう時は割り勘にしようぜー
ガラ
ガラ
ガラ…
うむ そなたは20ヴァリスしか持っていなかったのだ

ねあああの!?

だ 大丈夫ですか 神様?
す すまない ベル君 こんな見苦しいところを……
どうやら飲み過ぎたみたいだ
そして…何も思い出せない……!
少し疲れているようだ。
ニコ…
神友のあの慈悲深い笑みは一体なんだろう…?
……
ベル君
ダンジョンに行かなくていいのかい?

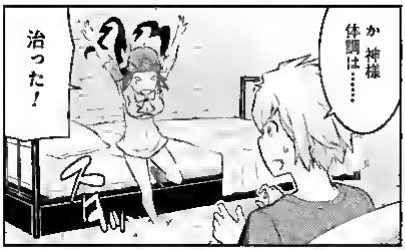
今の神様は放っておけませんから
今日は休むことにしました
神様 これ食べられますか？
……ちょ ちょっと辛いなぁ 食べさせてくれないかい？
あ はい わかりました
ぽん
う……うう～ 頭がー
わっか 神様？
ほら しっかりしてください
チエッ
ぽん

それで…
あれかい
昨日はサポーター君と
一緒にご飯を食べに
行っていたのかい？
はい ちょっと
嬉しいことがあって……

いいよなぁ
君は
どうせ昨日は
美味しもの食べて
お楽しみだったんだろ
あーぁ ボクも
行きたかったなぁ
じゃ
じゃあ……

行きませんか？
二人で　その…
ちょっと贅沢なものを
食べに……
……は？
キン
ooo
じ実はですねっ
昨日の探索で
沢山のお金が
手に入って……！
その神様に恩返しが
したいって僕……！
デデデデデデ
デートのお誘い!?
ここれはまさかっ——

神様が元気になったら今度にでも……
今日行こうッ!!
え


か神様体調は……
治った!

よし すぐに準備を——

いや待て!

今日
行くんだ!

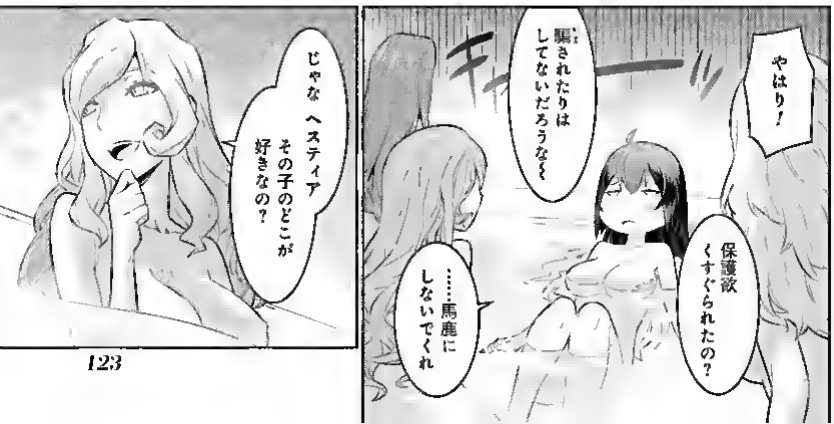
クンクン
クン…
――酒臭い！
女神にあるまじき酒の香りが体から漂っている……！
ゴゴゴゴゴ…
ベ…ベル君…18時だ
は…はい？
18時に南西のメインストリートアモールの広場に集合だ！
ゲボボボボボボッ
ぽかん…

食事の約束？

あらあらまぁまぁ！
それって殿方とよね!?
だったら
何だって言うのさ？
声が大きいよっ

ヘスティアに男!?
あの引きこもりが！
ド幼女がっっ！
ど どういう
ことなの!?
さぁ吐け！

な 何だよ
ボクに浮いた話が
あったら そんなに
おかしいのかい？
違うのよ ヘスティア
貴方 これまで殿方の求愛を
みんな断っていたでしょう
知神や純潔神と並ぶ
天界の三大処女神の一人！
私達は難攻不落の城塞を
落とした者を知りたいのよ！
……相手はボクの
【ファミリア】の子だよ
ヒューマンだ


やはり！
騙されたりは
してないだろうな～
保護欲
くすぐられたの？
……馬鹿に
しないでくれ
じゃな ヘスティア
その子のどこが
好きなの？

——全部(いろいろ)だよ
さて そろそろ時間だ
今行くよベル君……
待っててね！

ううぅ……
プル
プル

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っている。

アモールの広場
ベル君！
あ……！

待たせちゃったかい？
ごめんねベル君
もっと早く来るつもりだったんだけど…
いいえっ
僕も今来たばかりですから…
ポ
少し装いを変えてみたんだけど……
どうだい似合うかい？
あはいっ！
とっても似合ってます！
えっと 何ていうか……
普段より凛々しくてその……
き 綺麗です！
ほ・本当かい!?
……
それじゃあ ベル君？
今夜はしっかりエスコートしてくれよ？

STEP 21▸▸ 嵐の前の静けさ!?

はいっ！
エスコートは
任せてください！
ギュッ
行きましょう
神様！
あいたーっ!?
ヘスティアが
おったぞ！
!?
ベル君…♡

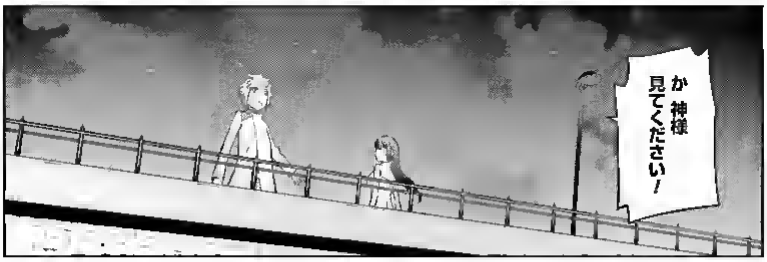
ということは……
あの隣にいるのがっ！
女神達っ!?
一体何しに――
ゴッ
ゴゴゴ
やーん 結構可愛い!?
キャッキャッ
む むぶうぅっ!?
ヘスティアはこういう子が好みなのかー

なっ
なぁ……!?
ごめんなさいね
ヘスティア
私達どうしても
貴方の子が気に
なっちゃって……
ナデ
ナデ
んーっ!?
んーっ!?
あらやだ
本当に兎みたい
むぎゅう
ベル
く――んっ!?
好奇心に餓えた神どもめ
ベル君はボクの眷族なのにっ!
ボクのものなのに……っ!
ぐぎぎ
ズボッ
かみ
さまっ
ベル君! 無事か!?

……僕 もう死んじゃってもいいかもしれません……っ！
ドキドキドキ
痛ッ
すみません でしたっ……!!
ゴッ
よし
ズッ
逃げるぞ！
ガッ
ガッ

はぁ〜っ
もう これだから
神ってやつは!?
欲望に忠実
過ぎるんだよ 全く!
ようやく振り切った…。
逃げ回っていたら
すっかり夜も
更けちゃったし……
せっかく
ベル君とデート
だったのになぁ〜
はぁ…

あ あの・神様
いつかまた……
……あっ!?


か 神様
見てください!

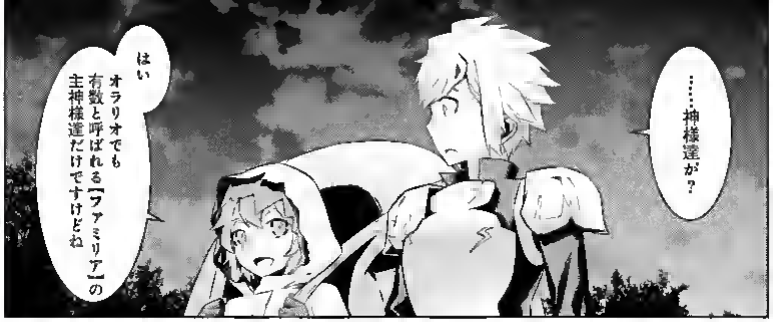
あの…神様…
いつかまた行きましょう
今度こそ絶対に
その時までもっとお金が貯められるよう頑張りますから
それで…美味しいものを食べて美味しいものも飲んで……
またここに来ましょう
今日見つけることのできたこの綺麗な景色を……
また二人で見に来ましょう！

……楽しみにしてるぜ
ベル君♪
はいっ

今日も順調でしたねベル様！
冒険者様として軌道に乗ったそう言えるかもしれません
リリのおかげだよ！
モンスターを狩る効率が格段に上がったし
稼ぎはソロの時とは比べものにならないよ
それじゃあリリ今日の報酬も山分けしよう
じゃら
…ありがたく頂戴しているリリが言えることではありませんが
ベル様は人が良過ぎです
危なっかしくて見ていられないというか……
つい世話を焼き過ぎてしまうというか…
う〜何か毒されているような気がします〜っ！

最近、りりに
よく怒られるなぁ
……うわぁ すっかり
夜になっちゃってる…
くるっ

やっぱり大きいね
バベルは
……知っていますか
ベル様
バベルは20階までが
テナントとして
貸し出されていて……
そこから上は
神様達が住まわれて
いるんですよ


……神様達が？
はい
オラリオでも
有数と呼ばれる【ファミリア】の
主神様達だけですけどね

もともとバベルは
これほどまで巨大では
なかったそうですよ
それが今の大きさに
なったのは
この地に最初の神様達が
降りられた際に塔が
崩壊してしまって
造り直したからだとか……
そうなんだ

この地に降りられた
神様達か……
何で「天界」から
降りてきたんだろう？

お仕事が嫌になって
逃げ出してきたのかも
しれませんよ？
天界での神様達には
いくつかの義務が
あると聞きます

その最たる例が
下界で亡くなった人の
死後の処理……

……実は…
リリは
死ぬことに憧れていた
ことがありましたよ
……え
一度
神様のもとに
還れれば……
なんて……
今度生まれるリリは
今のリリよりちょっとは
マシになっているのかなぁ

リ…リリッ！
っ…
ごめんなさい
変なこと言って
昔のことです
リリはこれでも
たくましく
なりましたから
今ではそんなこと
ちっとも思って
ませんよ……

オオオオオ……
――良い表情ね
また強くなったのね
才能は乏しいように思えたけど……
それも含めて全部成長しているのかしら
本当に素敵

でも貴方はもっと輝けるはず……ふふふ
：フレイヤ様

ヘスティアには悪いけど……
あの子を貰うわ――

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っている。

貴方を私のモノにするのは待ち遠しいけれど……
複雑ね
来ないでほしくもある
今この時こそが
一番胸の躍る時なのかもしれない
……でもそうね
「魔法」はそろそろ使えてもいいのかもしれない

さて
どの魔導書に
しようかしらね
ふふふ……
これがいいかしら？

STEP 22 ▸▸ 油断大敵!?

ダンジョン
7層
ふっ！

ブォン
ガキィ
ガキィ

シッ！
いける！
この階層はもう楽勝かも――
ベル様 いけません！
左っ！

なっ!?
ニードルラビット――
避けられないっ!?
がぁっ!!

ガッ
ガガガ
ガシュッ
ニヤ
ニヤ
ニヤ

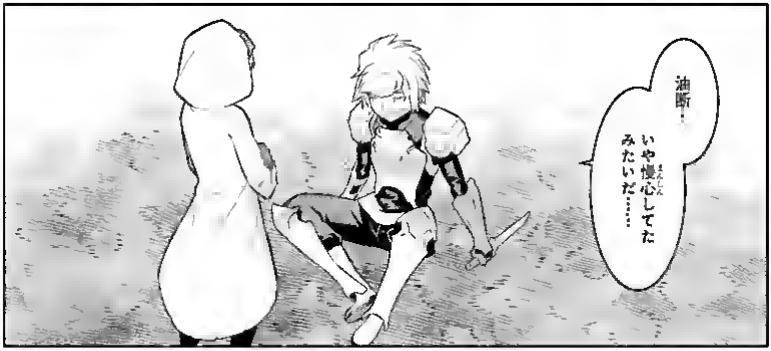
ぐらあ
ダメだ
この体勢じゃ両方は
避けられない――

ダメーーっっ!!

ベル様ぁ！
ギャアアア

ゴゴ
ゴゴ…
ベル様
無事ですか!?
……りりぃ～
おりがとう
助かったよぉ……
へな
へな
ガシッ

今のは不用意でした！
確かに意地悪な状況でしたけどベル様にも非がありますっ!!


油断…
いや慢心してたみたいだ……

リリがいなかったら本当にやばかった……
聞いてるんですかベル様！
は はいっ！聞いてますっ！

ごめん……
反省してるよ
もう絶対
慢心しない……
……確かに反省して
いるようですね
それだったら
リリはもう何も言いません
ねぇ
リリ それって
もしかして……
『魔剣』？
……はっ!?

確か『魔剣』って
一握りの鍛冶師しか作れない
魔法と同じ効果を
生み出す武器だったよね
めちゃくちゃ高いって
聞いてたんだけど……
その『魔剣』で
助けてくれたの？
ちょ ちょっと色々ありまして
リリのもとに転がり込んできて……
へぇ でも『魔剣』って使い過ぎると
壊れちゃうって……
……そうです
だから…ここぞという時しか
使いません
ベル様を助けるためなら
出し惜しみしませんけど……
……本当に
ありがとう
何だかすごく
嬉しかったよ
ううっ……！

べ、別にベル様を助けようとしたわけじゃないんですからねっ！
ベル様がいなくなるとリリの収入が減るからこうしたまでですっ！
勘違いしないでくださいっ！
ええーっ!?

なにこのてろのりり!?
はっ！リリは一体何を…べっ、べル様行きましょう！

…そういえば昨日【ファミリア】に戻ってたんだっけ……
何かあったの？
……どうしてそんなこと聞くんですかベル様？

リリと身内の関係が悪そうだったから…その気になっちゃって……
ごめん
お心づかいありがとうございます
でも大丈夫です
ベル様が心配しているようなことは一切起きていませんから
本当？
はい
昨日は月に一度の【ソーマ・ファミリア】の集会があったんです
毎月ノルマがあって稼ぐのがちょっと大変なんですよ
あっ あのさ
僕 聞いたんだけど
【ソーマ・ファミリア】ってお酒も販売してるんだよね
……ああ
お酒ですか
まあ それが守れなくても罰則はないんですけど
……

あれは……
失敗作です
え
ええっ？
捨てるのも
もったいないので適当に
市場に回しているんですよ
で でもすごく
美味しくて
人気も高いって……
失敗作ですら それほどまでの
美酒ということです
リリ達の主神である
ソーマ様は何物にも全く
興味を示さないのですが……
一つだけ 関心を払って
いることがあります
それが
お酒の製造です
ソーマ様の
絶対唯一のご趣味
【ソーマ・ファミリア】は
そのご趣味のためにあると
言っても過言ではありません

あ あはははっ
そ、そんなに美味しいお酒なら僕も飲んでみたいかな……？
やめておいた方がいいと思います……
あ
また……
また、そんな顔……
そうやって気にかかる表情を見せるのはもう何度目かな
それを見る度に思い知らされる……
僕とリリの間の溝はまだ埋まっていないんだって

豊饒の女主人
ん？
これって……
ニャんだニャんだ？
シル それは忘れ物かニャ？
コラァ！またサボってんのかい馬鹿娘どもぉ！
ミミア 母ちゃんっ！
ミャー達は変な本を発見したのニャ！
……あぁん？

――それは……
チッ！
目につきやすそうな
ところに置いときな！
馬鹿じゃなかったら
忘れたことに気付いて
取りにくるだろ

ダンジョンに出会いを求めるのは間違っている。

大森藤ノ先生
書き下ろし
小説

特別章

エルフの一幕

著／大森藤ノ
イラスト／ヤスダスズヒト

「……」

エルフのリューは、自分の手の平を見下ろしていた。

場所は酒場『豊穣の女主人』である。早朝を迎えた店内は住み込みで働いている従業員達の手で開店の準備が進められている。

沢山の猫人が換気や掃除に追われる中、リューは一人、動きを止めていた。

「リュー、どうかしたニャ？　昨日からぼーっとしていて……具合悪いニャ？」

「いえ、すいません……大丈夫です」

テーブルを抱えて運んでいた猫人の少女、アーニャが声をかけてくる。

尻尾をにょろにょろと揺らす彼女に返答するも、リューは己の手から視線を上げない。

（……手を、握ることができた）

彼女の胸の内を占めるのは、昨日の夕暮れ時の出来事だった。

盗難された知人の私物――少年のナイフをとある小人族から取り返した際、彼に感謝され手を握られてしまったのだ。そしてリューは、それを拒まなかった。

神妙な表情を浮かべるリューの中で思考が重なり、過去の記憶が呼び起こされる。

リューは、元冒険者だった。

とある【ファミリア】に所属し、仲間に囲まれながらオラリオで日々を過ごしていた。

「まったく、冒険者を五人まとめて吹っ飛ばして……ちょっかい出そうとしてきた向こうが悪いけど、やり過ぎよ、リオン！」

「すいません、アリーゼ」

腰かけた建物の屋根の上。高いところが好きな【ファミリア】の知己に連れられ、その日、リューは説教を受けていた。

誇り高く、見目麗しいエルフには『認めた相手でなければ肌の接触を許さない』という風習がある。全てのエルフに当てはまる訳ではないが、生まれ育った環境の影響で、リューもその習性に悩まされることが度々あった。

『名前なんて呼びにくい！』と言い名字を使う同僚の少女は、おもむろに意地悪そうに笑う。

「まぁ、あんたの直感は正しいと思うわよ？　この清く完璧な私の手を振り払わないんだから」

少女はリューの手を握り、繋いだまま肩の高さまで持ち上げた。

リューは肌に触れようとする他者の手を打ち払ってしまう。初見の人間に対しては必ずと言っていいほどだ。だが目の前の少女に限っては、リューの手は振り払うことはしなかった。

初めて出会い、手を握られ、微笑まれるまま、彼女の誘いで派閥に入団したのである。

快活な彼女の本質を、澄んだ心を感じ取り、リューは受け入れることができたのだ。

「そうですね……貴方は美しい。いつでも前を向いて、誰にも分け隔てなく接する優しさを持っている。私は貴方を尊敬しています」

真面目な顔で告げると、知己の少女は瞬きを繰り返した後、赤面した。
その美しい赤い髪の色と同じように、頬を紅色に染める。
「こっ恥ずかしいことを平然と……これだから生真面目なエルフは……」
赤らんだままごにょごにょ呟く姿に小首を傾げていると、彼女はまるで誤魔化すように「いい、リオン!?」と急に声を張り上げた。
「覚えておきなさい！　顔が悪かろうがナヨナヨしていようが、あんたの手を握れる男が現れたら逃がしちゃ駄目よ！　あんたが受け入れられる異性なんて、これっぽっっっっっっっちもいないんだから!!　稀少種なんて目じゃないわ、絶対、確実にね！」
目と鼻の先に指を突き付けられ、今度はリューが瞬きをする番だった。
「絶対、ですか」
「絶対よ！」
断言する彼女に、リューはふむと深思した。知己の言葉を心に刻み込む。
二人でオラリオの街並みを見下ろしていた、青い空の日の出来事だった。

かけがえのない過去の日々から意識が戻ってくる。
己のきめ細かな白い手を見下ろしながら、リューはベルのことについて考えた。
白い髪に深紅の瞳、まだ少年で、どこか頼りなさそうな雰囲気。だがその髪の色と同じ白い心

を持っているのを、短い交流の中で感じ取れている。
屈託ない笑みを覗かせるあの白い少年が、知己の言うリューの運命の相手なのだろうか。
（ですが、彼は……）
知己の言葉を反芻しながら、仕事を再開させたリューの目に、ふとある光景が映る。
窓の外、店先で昼食を渡す同僚と、それを受け取る少年。
いつからか、同僚の少女は迷宮にもぐる少年のために、昼食を手渡すようになっていた。
シルは頬を染めて嬉しげに、ベルは申し訳なさそうにしながら、それでも笑い返している。
「……アリーゼ、やはり私には無理です」
その光景を眺めながら、リューは笑った。
同僚の少女の——恩人であるシルの意中の相手に、横恋慕する真似などできない。
小さく知己の名を呟き、リューはその場からそっと離れた。

十

それから、数日後の朝。
リューは、厨房で昼食を作っていた。
——シル、寝坊するとは情けない。

先程酒場に駆け込んだ同僚は「ベルさんを引き止めておいて!?」と言っていたが、無茶だ。
試行錯誤を繰り返した昼食完成にいつも一時間はかかっていることを、リューは知っている。
義理高く、かつ生真面目な彼女は同僚を一助するため自ら調理し、店先で引き止められっ放しのベルのもとへ向かった。
「あ……リューさん？」
「クラネルさん、今シルは店の準備に追われていて……彼女から預かってきました」
そう偽ってリューは手製の昼食を渡した。これから迷宮探索へ行く予定のベルは、差し出された籐籠をおずおずと受け取ると——漂ってきた異臭に、顔を引きつらせた。
（……やはり付け焼刃では無謀でしたか）
リューが作ったのはサンドイッチだった。見よう見まねでパンを斬り、野菜と肉と生卵を挟んで燃焼を敢行すると、炭化した。パンも具材も。
干肉を始めとした非常食や携行食ならば冒険者時代の経験もあってお手の物だが……調理になった途端、リューの料理の腕はからっきし駄目だった。
くっ、と無念を噛み締めるリューは、引きつった笑みを浮かべる少年に弁明しようとする。
「ク、クラネルさん、これはシルが作ったものではなく……い、いえっ、今日の彼女は調子が悪いというか……」
普段からでは信じられないほど歯切れが悪くなるそんなリューに対し、ベルは。

籐籠から黒焦げのパンの塊を取り出して、瞳を見開くリューの目の前で、かじり付いた。
「……きょ、今日のはっ、少し変わった味付けかもしれないですけど……」
棒立ちとなるリューの前で全て食べ切ったベルは、口の周りを黒くし、声を震わせながら。
それでも最後には、照れ臭そうにリューへ笑いかけた。
「僕なんかのために用意してくれて、ありがとうございます。すごく嬉しかったです……そう、シルさんに伝えてください」
ベルは、気付いているだろう。
これがシルの作ったものではなく、リューの料理だということに。
だから、今目の前で送られたその言葉は、私への感謝の言葉だ。
――絶対に逃がしちゃ駄目よ！
心の隅から、知己の言葉が響いてくる。
動きを止めていたリューは、浮かびそうになる笑みをひた隠し、うつむいて言った。
「ええ……必ず伝えておきます」
残った昼食を持ってベルは朝の街を駆け出していく。その後ろ姿に、リューは目を細めた。
「困りました……少し、嬉しかった」
リューは最後に微笑んで、酒場の中に戻っていった。
以降、エルフの店員は同僚の想いを応援しながら、少年の姿を目で追うようになる。

コミックス3巻お買い上げありがとうございます！
アニメ化ですよ！
ますます広がる「ダンまち」の世界に、興奮を隠しきれません。

この文を書いている現在、夏があっという間に過ぎ去っていき、気が付けばもう冬に
さしかかろうという時期になっていました。
夏は涼しく遊んでやった、なんてことはまったくなく、自分のことながら寂しい限り。
せめてベルくんには楽しい夏を！ということで、イラストは「水遊び」です。

それではまた、次巻もよろしくお願いします。

九二枚

デジタル版　Ver.2.00

ヤングガンガンコミックス
ダンジョンに出会いを求めるのは間違っているだろうか
3

2014年11月13日　Ver.1.00発行
2015年2月1日　Ver.2.00発行

原作/大森藤ノ
キャラクター原案/ヤスダスズヒト
漫画/九二枝
©2014 Fujino Omori/SB Creative Corp.
©2014 Kunieda
装幀/Masataka Hamasaki [NARTI, S]

初出/ヤングガンガン 2014年No.10～No.14、No.16～No.18掲載

発行所
株式会社スクウェア・エニックス

担当編集
熊谷勇一

<ページ抜け・誤植・内容についてのお問い合わせ>
スクウェア・エニックス　サポートセンター　http://sqex.to/jp_manga_support

<ビュワーの不具合・再ダウンロードできない等、販売に関するお問い合わせ>
本作品を購入された電子書籍書店のサポートセンターにお問い合わせください。

この作品はフィクションです。実在の人物・団体・事件などには、いっさい関係ありません。

本作品は、作品のオリジナリティを尊重し、台詞や表現を発表当時のまま収録しています。
あくまで作品世界の中での表現であることをご理解ください。

本作品の内容の一部あるいは全部を、著作権者、出版権者等の許諾なく、
転載、複写、複製、公衆送信（放送、有線放送、インターネットへのアップロード）、
翻訳、翻案等を行うことは、著作権法上の例外を除き、法律で禁じられています。
これらの行為を行った場合、法律により刑事罰が科せられる可能性があります。

カバー折り返し

COMIC

九二枝

「ダンまち」の漫画を描かせてもらっています。
祝！　アニメ化!!　嬉しすぎますね。
ベルやヘスティアが「動く」って…
今から楽しみです!!
よりいっそう、自分も頑張ろうと思います。

Cover Design
Masataka Hamasaki [NARTI,S]

※コミックス発売時のカバー折り返しを収録